

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

# 血管腫・血管奇形・リンパ管奇形診療ガイドライン 2017

平成 26-28 年度厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）「難治性血管腫・血管奇形・リンパ管腫・リンパ管腫症および関連疾患についての調査研究」班（研究代表者：三村秀文 川崎医科大学 放射線医学）

発行年月日 2017 年 3 月 31 日

## ■1 越婢加朮湯

疾患：

リンパ管奇形（リンパ管腫）

引用など：

Hashizume N, et al. Clinical Efficacy of Herbal Medicine for Pediatric Lymphatic Malformations: A Pilot Study. *Pediatric Dermatology* 2016; 33: 191-5.

## ■2 黄耆建中湯

疾患：

リンパ管奇形（リンパ管腫）

<以上 1~2 の記載として>

有効性に関する記載ないしその要約：

リンパ管奇形（リンパ管腫）の内科的治療の項に、下記の記載がある。

『最近本邦では漢方薬（越婢加朮湯、黄耆建中湯）等が腫瘤縮小に効果的であるという報告が増えている。』

### ■3 越婢加朮湯、黄耆建中湯

疾患:

リンパ管奇形 (リンパ管腫)

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ29: 縦隔内で気道狭窄を生じているリンパ管奇形 (リンパ管腫) に対して効果的な治療法は何か?』に対して、観察研究 (症例集積) の評価の項に下記の記載がある。

『文献スクリーニングにより、縦隔内のリンパ管奇形 (リンパ管腫) に対する治療は以下の手段が認められた。外科的切除、穿刺ドレナージ、硬化療法 (OK432、ブレオマイシン、エチブロック、無水エタノール)、内科的治療 (漢方薬の越婢加朮湯、黄耆建中湯)、無治療。これらのうちで比較的多数の症例について検討されているのは外科的切除と OK-432 による硬化療法であり、他のものは 1 例報告など非常に症例数が限られていた。』